
	<h2>パリ 2024 パラリンピック金メダリストが 練馬区民栄誉賞を受賞しました</h2>
と き	10月28日（月）午前11時～正午
と ころ	練馬区役所（豊玉北6-12-1）
<p>28日、パリ2024パラリンピックにおいて、水泳男子50m自由形・100mバタフライで金メダルを獲得した木村敬一選手、ゴールボール男子で金メダルを獲得した宮食行次選手の2名が「練馬区民栄誉賞」を受賞した。</p> <p>練馬区民栄誉賞は、スポーツ、芸術および学術等の分野において、特に顕著な業績を挙げ、広く区民に敬愛され、社会に希望と活力を与え、練馬区の名を高めた者に贈られる賞である。</p> <p>同日、練馬区役所で顕彰式が行われ、前川 耀男 練馬区長から2名に表彰状と副賞を贈呈した。</p> <p>木村選手は「たくさんのサポートや応援をいただいている区民の皆様にご金メダルという結果で返すことができ嬉しく思っている。今後とも応援よろしくお願ひします。」と話した。</p> <p>宮食選手は「皆様のたくさんの応援のおかげで、金メダルが取れました。ロサンゼルスパラリンピックも目指して頑張っていきたい。」と話した。</p> <p>前川区長は「世界最高のひのき舞台上、最高の栄誉を手にしたお二方に、74万区民を代表して、心からお祝ひ申し上げます。区のスポーツの振興をさらに進めていきたい。」と話した。</p>	
	
▲左から木村選手、宮食選手	

### 【受賞者プロフィール】

#### ① 木村 敬一（きむら けいいち）選手



水泳／【パリパラリンピック・水泳男子50m自由形・100mバタフライ「金」】

10歳から水泳を始め、筑波大学付属盲学校（現・筑波大学付属視覚特別支援学校）では水泳部に所属。パラリンピックには2008年の北京大会から5大会連続出場。ロンドン大会（2012）では、銀1個、銅1個。リオ大会（2016）では、銀2個、銅2個。東京大会（2021）では金1個、銀1個と、この度のパリ大会を含め10個のメダルを獲得。現在は、東京ガス株式会社に在籍、慶應義塾大学非常勤講師も務めている。

#### ② 宮食 行次（みやじき こうじ）選手



ゴールボール／【パリパラリンピック・ゴールボール男子「金」】

小・中は野球部、高校ではソフトボール部に所属。2017年、大阪府立大阪北視覚支援学校でマッサージ師の勉強をしていたときに、日本ゴールボール協会が主催する人材発掘プロジェクトでゴールボールに出会う。22歳で上京して本格的に競技をスタート。現在は、株式会社コロプラに在籍。長身と身体能力を武器に急成長を遂げ、競技歴わずか1年半で強化指定選手に選ばれる。

### 【問合せ】

[区民栄誉賞について] 練馬区総務課総務係 電話 03-5984-2600  
[区のスポーツ施策について] 練馬区スポーツ振興課事業係 電話 03-5984-1947